

災害対応報告

令和5年度 台風6号・7号

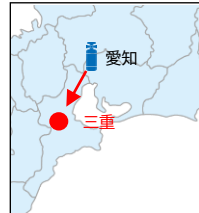
2023年8月初旬～中旬にかけて発生した台風6号・7号により、日本列島の広範囲に甚大な被害をもたらされました。本災害により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

この災害に際し、フクダライフテックでは在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を行っている療養者を中心に安否確認を実施するとともに、医療機器の動作状況を確認し、療養者のサポートに努めました。



酸素ポンペを停電被害が懸念される地域へ輸送

※酸素ボンベ輸送実例



複数の地域で停電の発生が懸念され、療養者への継続的な酸素ボンベの供給が必要不可欠となりました。

当社では、台風進路予想を活用して、近隣の災害用備蓄ボンベ拠点より被災地へ酸素ポンペを移送し、療養者へ速やかに供給しました。



災害時業務支援システム『フクダレスキューウェブ』を活用し、延べ約1350名の療養者安否確認、機器の状況確認を実施

災害発生後ただちに、当社の災害時業務支援システム「フクダレスキューウェブ」を使用し、被災地区の療養者情報を抽出し、療養者の安否確認ならびに医療機器の動作状況の確認を行いました。

確認した情報はフクダレスキューウェブへ集約し、療養者の状況確認が完了した後、各医療機関へ速やかに専用報告書を用いて報告を行いました。

また酸素ボンベ他、在宅療養継続のための必要物資を供給し、療養者のサポートに努めました。

FUKUDA RESCUE Web



氏名	性別	年齢	住所	連絡先	医療機関	機器状況	安否確認
山田 太郎	男	75	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	東京医科大学	正常	確認済
佐藤 花子	女	68	神奈川県横浜市	045-XXXX-XXXX	横浜国立大学	正常	確認済
鈴木 一郎	男	82	大阪府大阪市	06-XXXX-XXXX	大阪大学	異常	確認済



- レスキューウェブの情報をもとに安否確認を実施

- レスキューウェブ上に療養者の安否情報を集約

- 集約した情報をもとに専用の報告書を作成

当社における主な災害対応履歴

2016年

熊本地震

【4月14日～4月16日】

- ・療養者約600名の安否確認を実施
- ・地震発生翌日に災害用備蓄ポンペを発送し対応

2018年

大阪北部地震

【6月18日 7：58頃】

- ・療養者約1,100名の安否確認を実施

西日本豪雨災害

【6月28日～7月8日】

- ・福岡、山口、岡山、広島、香川、愛媛、高知、兵庫、大阪、京都にて療養者約5,700名の安否確認を実施
- ・酸素ポンペ他、必要物資を供給し対応



北海道地震

【9月6日 3：07頃】

- ・療養者約250名の安否確認を実施
- ・自衛隊輸送機で、酸素ポンペを現地へ空輸し対応



2019年

台風15号

【9月8日～9月9日】

- ・千葉、茨城、神奈川の停電地区を中心に約850名の安否確認を実施
- ・特に千葉県南部では停電が長期化したため近隣の営業拠点から酸素ポンペを発送し対応

台風19号

【10月12日～10月13日】

- ・岩手、宮城、福島、茨城、千葉、神奈川、静岡、山梨、長野にて療養者約2,000名の安否確認を実施
- ・酸素ポンペ他、必要物資を供給し対応

2020年

令和2年7月豪雨

【7月上旬】

- ・九州地方を中心に全国で約1,000名の安否確認を実施
- ・酸素ポンペ他、必要物資を供給し対応にあたる

2021年

福島県沖地震

【2月13日 23：07頃】

- ・療養者約400名の安否確認を実施

熱海市伊豆山土石流

【7月3日 10：30頃】

- ・土石流発生地区を中心に療養者の安否確認を実施

安全・安心な療養生活の継続のため、
私たちはこれからも活動していきます